

姫路市文化国際交流財団 NEWS

SHIRASAGI

CONTENTS

Vol.39 令和5年3月

- ◆ オンライン交流会
 - ◆ やさしい日本語講座
 - ◆ 日本語学習支援ボランティア養成講座
 - ◆ VIVA の集い
 - ◆ 日本語ひろば交流会
 - ◆ コラム：浦 優介さん
 - ◆ 地域交流事業
 - ◆ Ola Brazil！知って作って楽しもう！
 - ◆ パソコンスキルアップ講座
 - ◆ 国際理解出前講座
 - ◆ 第3回「わたしの国際交流」展
 - ◆ イベントカレンダー
- ・・・ P1
・・・ P2
・・・ P3
・・・ P4

オンライン交流会



1月6日（金）・8日（日）・9日（月・祝）に、韓国・昌原市^{ちゃんうおん}とオンライン交流会を実施し、姫路市から8名、昌原市からは10名の中高生が参加しました。

第1回の交流会では、自己紹介とお互いの国・都市・文化をプレゼンテーションしました。第2回と第3回では、お互いの都市や文化に関するクイズやゲームを行い、楽しみながら相手のことを深く知ることができました。また、5つのグループに分かれてグループワークも行い、様々なトピックについて意見交換を行いました。韓国語を話す姫路市の生徒や日本語を話す昌原市の生徒がいたので、日本語・韓国語・英語が飛び交うユニークな交流になりました。両市の生徒たちにとって、お互いの姉妹都市を知り相手の文化を理解する有意義な交流となりました。

地域交流事業「一日限定 OPEN！グアテマラカフェようこそ！」

3月5日（日）に高岡公民館で、グアテマラ出身のルクレシアさんと、現地の日本人学校で校長をされていた照本さんを講師に迎えて交流イベントを実施しました。食べ物や世界遺産など、たくさんの写真を見せてもらいながら、おふたりのお話を聞きました。治安の悪さや就学率の低さなどの課題はあるものの、おせっかいなほど世話好きで心が温かい人が多いそうです。あまりなじみのない国ですが、蒙古斑のある民族もいるなど、日本とのつながりを感じます。



交流の時間には、グアテマラはコーヒーが有名とのことで、このイベントのために特別に焙煎してもらったおいしいコーヒーを飲みました。「国旗に描かれている鳥は？」「日本で一番苦労したことは？」など、参加者からたくさん質問が飛び出しました。

ルクレシアさんから見た日本と、照本さんから見たグアテマラの対比が興味深く、楽しく知識を深めることができました。

やさしい日本語講座

1月28日（土）と29日（日）の2日間にわたって、やさしい日本語講座を実施しました。

「やさしい日本語とは」と「会話編」では、やさしい日本語の基礎だけでなく、やさしい日本語の話者になるには異文化理解も必要であると説明されました。また、いくつかの文章を言い換える練習をし、頭を柔らかくすることも必要だと実感しました。「文章編」では、どうやって外国人にもわかりやすいやさしい日本語の文章にしていけるか、具体的に学びました。

2日間の講座を通して、様々な場面でやさしい日本語がどれだけ役立つかを学びました。また、敬語や方言、カタカナ語、擬音語・擬態語などが外国人にとって難しい言葉であることなども知りました。参加者の方々には、講座で学んだ知識を近所に住む外国人やインバウンド旅行者との交流に役立てていただきたいと思います。



Ola Brazil! 知って作って楽しもう!



3月12日（日）に開催された国際交流スプリングフェスティバル内のイベントとしてブラジルの講座を2つ実施しました。1つはブラジルや姫路市の海外姉妹都市クリチーバ市の文化紹介、もう1つはビーズ細工づくりです。

エロイザさんは、クリチーバ市出身で現在は福岡県内の大学院生です。今回はイベントのために、姫路に来てくれました。クリチーバ市はバスのシステムが発達しており、多くの種類のバスが走っているそうです。また、美しい庭園が有名で、カピバラが悠々と歩いている動画も見せてもらいました。

ビーズ細工づくりでは、姫路市在住のローズさんと一緒にブラジルの国旗をモチーフにしたアクセサリーを作りました。子どもから大人まで細かい作業に集中しました。完成した作品を早速服に着けて、嬉しそうな様子でした。安全ピンとビーズがあれば、簡単にできます。ぜひご自宅で作ってみてください。



日本語学習支援ボランティア養成講座

3月18日（土）・19日（日）・25日（土）の3日間にわたり、矢谷久美子さんを講師に迎え、「日本語学習支援ボランティア養成講座」を実施しました。日本語教室で日本語学習の支援を考えている方が集まり、心構えや日本語の仕組みなどについて学習しました。学習者から話を引き出すためのテクニックや話題の探し方、自然な日本語を練習する方法など、具体的で実用的な内容を学びました。この講座を通して学んだことを参考に、ボランティアとして今後活躍されることを楽しみにしています。



パソコンスキルアップ講座



2月4日（土）から隔週で3回にわたり「パソコンスキルアップ講座」を実施しました。講師は、ニュージーランド出身のルイス グトリーさんです。昨年春に実施した講座の第2弾で、今回は Google Docs の共有機能やデザインソフト「Canva」の使い方を教わり、姫路市の姉妹都市を PR するポスターを作成しました。参加者の力作は、イーグレひめじ 4 階の和室前の掲示板に展示しています。ぜひご覧ください。

VIVA の集い

2月12日(日)に、在住外国人向け生活情報誌「VIVA!ひめじ」の編集・翻訳ボランティアの交流会「VIVA の集い」を実施しました。この集いは、普段はメールでのやり取りが中心で、あまり顔を合わせることがないボランティアの方々の親睦を図るために、年に1回開催しています。編集ボランティア8名、翻訳ボランティア15名、インタビュー協力者2名が参加し、普段の活動で疑問に思っていることや、他のボランティアと共有したいことなどを話し合うだけでなく、ゲームやビンゴで盛り上がりました。

これからも VIVA!ひめじでは、編集・翻訳ボランティアが協力して、よりわかりやすい情報をお届けしていきます。



国際理解出前講座



在住外国人や海外生活経験者を、市内の公立小・中・高等学校や公民館に派遣して外国の生活や文化を紹介しています。12月から3月までの間に、5つの公民館と5つの小中学校で講演を行いました。講演を聞き、民族楽器を聴いたり民族衣装に触れたりすることを通して理解を深めました。

また、1月21日(土)に話し方講座を実施し10名の登録講師が参加しました。講師は、司会やアナウンサーとして活躍している西口紗矢さんです。良い印象を持ってもらうために心がけることや滑舌を良くする方法などを教えていただきました。

日本語ひろば交流会



2月19日(日)に日本語ひろばの学習者とボランティアの交流会を開催しました。コロナ禍でイベントの開催延期が続いていましたが、ようやく活動曜日の垣根を越え、集まることができました。

2名の日本語ひろばの元学習者に来てもらい、日本での生活や仕事、日本語ひろばでの思い出など、幅広く話してもらいました。その後、お2人を交えて質疑応答や情報交換を行い、お互いにとって有意義でした。

最後は、参加者全員でクイズやゲームを楽しみました。普段の活動では出会わない人たちと親睦を深めることができました。来年度はもっと活発なイベント活動ができたらいいと思います。

また、2月5日(日)にバイリンガル支援員の于恒紅さんを招き、ひろばキッズ・キッズ+のボランティア交流会を実施しました。10年以上支援員として外国ルーツの子どもたちの学習支援に携わってこられた経験から、子どもたちに寄り添って不安を取り除くことや、コミュニケーションを大切にしていることなどをお話いただきました。

第3回「わたしの国際交流」展

新型コロナウイルスの影響で、海外との交流が難しい状況が続いています。そこで、国際交流の楽しさや大切さを感じていただくために国際交流をテーマにした写真や川柳を募集しました。写真部門は19作品、川柳部門は14作品が集まりました。厳正な審査によって各部門で、最優秀賞1点、優秀賞2点、入選5点が選ばれました。2月6日(月)から21日(火)までイーグレひめじ1階イベントスペースにて、3月1日(水)から17日(金)にかけて姫路市役所本庁舎1階市民ロビーにて作品展を実施しました。各部門の入賞作品8作品ずつをエピソードとともに展示し、さらに受賞を逃した作品は佳作として展示しました。



ウクライナ侵攻に屈さないハルキウ音楽院



指揮者 浦 優介さん

ウクライナ国立コトリャレフスキー記念ハルキウ芸術大学 指揮科
 (一社)日本ウクライナ音楽協会理事
 姫路市ジュニアオーケストラの合奏練習指導や依頼演奏
 (Himeji SDGs EXPO 2022、あいめっせフェスティバル 2022 等) での指揮を務める

私は現在、ウクライナ国立コトリャレフスキー記念ハルキウ芸術大学(ハルキウ音楽院)の指揮科の3年生です。語学学校に通っていた2020年3月からコロナ禍になっていたので、音学院に入学してからも現地でリモートと対面が状況によって変わりながらの授業でした。

そんな中、2021年12月頃からロシアの動きを警戒するニュースが多くなりました。それでもウクライナの人達は戦争になるとは思っていませんでした。2022年1月に入り、ゼレンスキー大統領は「もしロシアが我々の国を攻めるならば最初はハルキウだろう」という声明文を出しました。この声明を知り、両親や多くの知人・友人から私に多数の心配の声が届き、私は日本に一時帰国することを決めました。大学に行き、複数の先生方に状況を話しましたが、先生方は口を揃えて「ロシアのいつものジョークだ。」「君たちはこのような状況になれていないかもしれないけれど、大丈夫だ。」という返答でした。ちょうどその頃、日本の大使館からも帰国を強く薦める電話がかかり、私はそのままウクライナを一度去ることになったのです。

2月24日、ロシアのウクライナ侵攻が現実になりました。映像を目の当たりにした時、目を疑いました。私の通学路だった場所に爆弾が落ち、建物が一瞬で崩れ落ちたのです。大学の窓ガラスは割れ、大学の裏通りやお店が変わり果てていました。その時私は、怒りを感じる前に涙が頬を伝っていました。その後には言い表せない負の感情が押し寄せるのです。私の指揮の先生の家も爆撃でなくなりました。それが現実です。ご存じの通り、1年が経つ今も残念ながら空襲などが続いています。しかし、この環境下でも先生方はリモートで授業を続けています。それが侵略に屈していないという抵抗であり、希望だからです。

彼らの心は折れず、学生達は避難こそしても学び続けることを止めません。だから私もハルキウ音楽院の学生として今も学び、一人でも多くの方に真実を伝えたいと強く願います。



窓ガラスの破片が散乱する教室

イベントカレンダー

| イベント名 | 日程・場所 | 内容 |
|---|--|---|
| 海外姉妹都市青少年交流 募集説明会 | 4月16日(日) 13:30~15:30 イーグレひめじ3階 あいめっせホール | 4年ぶりの再開となる海外姉妹都市派遣プログラムや一昨年から実施しているオンライン交流会についての詳細のほか、応募方法、選考などについても説明します。 参加無料・申込不要 |
| 海外姉妹都市青少年交流 ボランティア募集説明会 ①オンライン説明会 ②対面説明会 | ①4月23日(日) 13:30~15:00 ②4月26日(水) 10:30~12:00 | 海外姉妹都市からのゲストへの日本文化紹介や、派遣プログラム参加者対象の事前研修にご協力いただくボランティアを募集します。説明会では活動内容の詳細をお話しします。 参加無料・要事前申込 |
| 国際理解出前講座 「神々の宿る島 インドネシア・バリ島」 | 4月28日(金) 13:30~15:00 城東公民館 | インドネシアは大小様々な島で成り立っています。講師の故郷バリ島は「神々の島」とも呼ばれ、ヒンドゥー教に基づいた伝統的な文化が息づいています。毎日の暮らしに密着した宗教的な儀式や、結婚式、お正月などの伝統行事について紹介します。参加無料。城東公民館TEL:079-289-8198 |

<企画・編集>

公益財団法人姫路市文化国際交流財団 [国際交流担当]

〒670-0012 姫路市本町 68-290 イーグレひめじ 3階

TEL:079-282-8950 FAX:079-282-8955 E-mail:info-iec@himeji-iec.or.jp



(公式ホームページ)



(公式 SNS)

URL:https://www.himeji-iec.or.jp